

感染症情報 1月15日～21日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,428例	(堺市 157例)
②溶連菌感染症	715例	(堺市 70例)
③咽頭結膜熱	118例	(堺市 13例)
④手足口病	82例	(堺市 7例)
⑤突発性発疹	32例	(堺市 3例)

府下306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 5,884例(堺市 742例)

報告数による順位である。前週比39.5%増の2,470件の報告であった。感染性胃腸炎が府下で前週比56%増、堺市で前週93例→今回157例であった。溶連菌感染症は府下で40%増、定点当たり2.59→3.63、堺市は前週42例→今回70例、定点当たり2.21→3.68であった。咽頭結膜熱が府下で33%減、堺市で前週17例→今回13例であった。手足口病が府下で71%増、堺市で前週5例→今回7例であった。

インフルエンザが府下で前週3,695例→今回5,884例は前週比59%増で、14歳以下が全体の74%を占めていた。堺市で前週430例→今回742例は73%増であった。定点当たり大阪府は12.08→19.23になった。堺市は14.83→25.59であった。

府下306医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 2,436例(堺市 326例)
大阪府定点 7.96 堺市定点 11.24

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
93	283	291	351	181	205	206	245	145	215	221	2436

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週1,891例→今回2,436例は29%増、定点当たり6.18→7.96で10週連続増加中。堺市で前週279例→今回326例は17%増、定点当たり9.62→11.24で、7週連続増加中。今回も、堺市は大阪府のブロック別のワーストで、低年齢層が増加している。

麻疹や風疹の報告はなかった。